

# 夢

～努力は未来を拓く～

弥富北中学校2年生

学年通信 第14号  
2017. 10. 26

## 校外学習 10月20日(金) 「グリーン平和と愛を広げようJじゃないICA！」

ピース

当日はたくさん歩くので、天候を心配していましたが、ありがたいことにあまり雨に降られることもなく、無事にピースあいちとなごや地球ひろば（JICA中部）の2箇所を訪問することができました。実行委員の感想を紹介します。

### 【実行委員をやって】

- 実行委員をやったことで、戦争と平和のことを深く考え、自分なりに戦争の悲惨さをクラスの人たちに伝えることができたと思っていました。しかし、いざピースあいちに行ってみると、想像以上の衝撃で、目を覆いたくなるような写真もありました。事前にもっと調べて情報を知っておくべきだったと感じました。
- 実行委員として、校外学習の様々な案を出することができるのか、またクラスや学年のみんなにうまく説明できるのか不安がありました。ですが、全員が学ぼうとする姿勢で実行委員を支えてくれたので、無事に校外学習に行くことができました。この学習が次の広島研修につながっていくといいなと思いました。
- わたしは実行委員として先頭に立たせてもらったおかげで、「戦争と平和」について真剣に考えることができたと思います。クラスの仲間が、実行委員が決めたミッションを達成しようとしてたり、広島研修に向けての目標を見つけたりしてくれたので、リーダーとして感謝しています。この活動を次の広島研修につなげて、「平和」への思いを強くもち、形としてその思いを残していきたいと考えています。



### 【なごや地球ひろば（JICA中部）】

○ JICAで学んだことは、多くの国がSDGsの目標を達成しようとして政策を立てたり、法律を作ったりしているということです。しかしのそ政策や法律は本当に目標達成につながっているのかと疑問に思いました。なぜなら、ある国では、子どももの犯罪を減らすために、罪に問う年齢を低くしたので、家出した子どもたちが盗みを働いてしまい、逮捕されることが増えているといえます。逮捕された子どもたちは家族にも見放され、刑務所に入ることになります。小さな子どもを守るはずの法律が、実際は患まれない子どもたちを守れていないという現状になっています。子どもを守るということは、未来の世界を守るということだと思うので、どの国も、もっと良い政策を考えなければならないと思います。

○ 二度目のJICAへの訪問で、また新たな発見がありました。世界にはまだまだ課題がたくさんあります。その課題の解決のために、自分ひとりではできないこと、国や地域で協力する必要があることなどがあります。まずは、世界に目を向けることが一番大切なことだと思います。世界は平等でなければならないと学びました。SDGsの全ての目標が達成されなければなりません。平和を願い、世界が愛で包まれるようお願い続けます。

### 【ピースあいち】

- ピースあいちで、戦争の体験談を聞かせていただきましたが、その内容は僕たちが想像することができないものでした。館内の展示には兵士の死体の写真があり、僕は言葉を失いました。この資料館を訪ねて、戦争は二度と起こしてはならないと実感しました。そのために今僕たちができることは、ピースあいちで学んだことを、家族や友人などいろいろな人たちに広めることだと思います。今もどこかの国で戦争は起きています。戦地では一生懸命生きている子どもたちがたくさんいます。そんな子どもたちのために募金をしていきたいと思っています。
- 戦争中は生きていたくても生きることのできない人々がたくさんいたと思うので、自分たちは生きていられることに感謝をし、毎日を大切に生きていきたいと思っています。命の尊さ、世界中の国々が協力することの大切さを改めて感じました。このことを忘れず、広島研修やこれからの日常生活に生かし、より良い学校生活を送っていきたいです。



